

平成 29 年 9 月 1 日

芦屋市企画部市民参画課
課長 山田 弥生 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

実施報告

- 1 事業名：地域課題解決の仕組みづくり 777 プロジェクト
- 2 実施日：平成 29 年 8 月 1 日（火）～8 月 31 日（木）
- 3 担当：橋野 浩美
- 4 参加団体：67 団体、3 個人

学校（精道幼稚園、小槌幼稚園、潮見幼稚園、学校法人阪急学園いるか幼稚園、芦屋市立精道中学校、県立芦屋国際中等教育学校、甲南高等学校、クラーク記念国際高等学校、県立芦屋高等学校、芦屋学園、神戸芸術工科大学、甲南大学、夢保育園）

商業団体・法人（浜東商店街、打出商店街、浜芦屋商交会、芦屋市三八会、芦屋本通り商店会、川西商店会、芦屋山手サンモール商店街、駅西商店街、ラ・モール芦屋名店会、ホテル竹園芦屋名店会、モンテメール、ラポルテ本店名店会、ラポルテ東館名店会、芦屋浜センター、芦屋米親会、水道橋商店街、芦屋なるみか、DTPbasecamp、こじやる、赤司法務事務所、芦屋青年会議所、芦屋市商工会青年部、芦屋市商工会女性部、芦屋市商工会）

NPO・協議会・各種団体（芦屋市教職員組合、芦屋市身体障害者福祉協会、芦屋地区更生保護女性会、芦屋映像倶楽部、あしや健康倶楽部、芦屋 Tio クラブ、オンライン学びや、日本宇宙少年団六甲分団、精道小 smile ねっと、精中応援隊、(特活)兵庫県暮らしにやさしい防災・減災、(一社)日本熊森協会、芦屋ライオンズクラブ、芦屋業平ライオンズクラブ、芦屋ハーモニーライオンズクラブ、芦屋東ライオンズクラブ、(認特)フードバンク関西、Cool Kids club、生活協同組合コープこうべ第 2 地区、サニーカフェ、(特活)あしや NPO センター

芦屋市（市民参画課、男女共同参画推進課、地域経済振興課、生涯学習課、青少年育成課、学校教育課、芦屋市立青少年愛護センター、芦屋市消費生活センター、あしや市民活動センター）

個人（甲斐、城村、長谷川）

- 5 協力団体：14 団体

学校（芦屋市立精道小学校）

NPO・協議会・各種団体（兵遊協・はあ〜とふるふぁんど、芦屋市社会福祉協議会、芦屋観光協会、(特活)芦屋市体育協会、芦屋美術会、(一社)芦屋ハートフル福祉公社、)

芦屋市（政策推進課）

6 後 援：5団体 芦屋市、芦屋市教育委員会、芦屋市PTA協議会、芦屋市コミュニティ・スクール連絡協議会、芦屋市子ども会連絡協議会

7 参加者数：27日イベント当日 4,500人

ふれあいCafé 804人（団体14団体114人、参加者690人）

子ども新聞 22人（小学生2人、中学生1人、高校生14人、神戸新聞社3人、県立芦屋高等学校教師2人）

8 内 容

(1) 目 的：将来を担う子どもたちが、地域を支える多様な団体と関わり、この活動に参加し、またおとなも市民活動に関わることによって、繋がりをつくること。

(2) テーマ：芦屋の「市民力」を高め、笑顔のまちに！

(3) 期 待：多様な人々がつながる（市民相互の繋がりができる）

市民が主体となる場がある（次世代を担う地域リーダーが育つ）

芦屋の魅力がわかる（まちが好きになる）

(4) 内 容：記念スタンプ、芦屋歩記、神社の「3つのスタンプラリー」

14団体による28のプログラムが開かれた「ふれあいCafé」

大学生のサポートで子どもたちと一緒に怪獣の絵を描いた「あしやキッズスクエア」

家庭で余っている食材を集めた「フードドライブ」

カトリック芦屋教会で開催した「ウルトラ写真展」

障がい者の駅ホーム転落防止を叫んだ「7つの知恵袋」

神戸新聞社アプリ使用の小中高生による「芦屋777新聞」発行

幼稚園児作成の「子ども立体怪獣展」

27日の精道小学校でのメインイベント「ウルトラセブン上映会」「ウルトラ

セブンヒーローショー」「熱気球」「ASHIYA夏フェス」「合成映像」、テ

ントブースや、物作り体験

(5) 振り返り（事務局）：

- ・学校を含め50以上の多種多様な団体の参加があり、特性を生かした事業を展開した。半面、団体と連絡を取り合う、共有することが難しい場面も多々あった。
- ・7回の実行委員会を開催し、毎回50人近くの出席者があり、新着状況を共有し、内容をメーリングリストで流し、全体共有に努めた。
- ・メインイベントの直前に、当日ボランティアのオリエンテーションを開催し、最終確認をパートごとに行った。当日のボランティアは高校生を含め100人以上となった。
- ・SNS効果からか、芦屋市外からウルトラセブンのファンが訪れ、芦屋のまちを散策していただいた。
- ・1カ月と長い事業であり、特に「ふれあいCafé」をリードあしやで開催したことでセンター利用率が高まった。
- ・教会、商工会、新聞社と通常繋がらない団体とのつながる機会を持てた。

(6) 効果：

- ・これまで利用していない団体、個人がリードあしやに訪れ、認知度は高まった。
- ・団体や、学校が繋がり、次年度の事業の取り組みについて相談しているところも出てきている。
- ・市民と行政が繋がり、官民の協働の一例となった。
- ・市内外の方に芦屋を知ってもらえた。
- ・プレスリリースをしたことで、広報が行き届き、多数の市民の方から好評をいただいた。
- ・子ども新聞を発行したことで、成果物として残すことができた。

(7) 今後の対応：

- ・メインイベント時は、高校生を中心に学生のボランティア参加が100人ほどいた。この繋がりを次年度に活かせるよう話し合いの機会を持っている。
- ・共有を図るためにメーリングリストを作ったが、これを生かし、団体の広報の場にできればと考える。
- ・カフェは兵庫県の助成金で開催したが、今後、リードあしやのメイン事業になるべく、市と協議していきたい。

(8) 参加者の感想：

- ・ロケ地巡りをしました。素敵な街でした。
- ・ウルトラマンでがっちり地域と絡めたイベントを見たのは初めてです。きっと提供側に関わった全ての人たちが色々な準備やアイデアを出し、調整も大変だったろうと想像できます。尊敬と感謝しかありません。
- ・ウルトラヒーローにイベント自体がリスペクトを持って企画され、ショー自体は芦屋というまちに敬意を持ったシナリオで演出され嬉しく思った。
- ・教会のウルトラ写真展を見てきました。親切にいろいろ教えていただきました。
- ・なぜかこの夏は芦屋にずっといる。
- ・子ども想像力は時に大人のセンスを凌駕するときがある。(子どもの怪獣絵展を見て)
- ・転落防止チラシ配布について、心から応援します。(チラシを貰いにきてくださいました)

振り返り（10月10日）

芦屋777プロジェクト 振り返り会

日時：平成29年10月10日 17時～20時

会場：リードあしや 会議室CD

参加者：学生（金木、黒住、山森、裕本、田中、柴田、○島、先島、久永、中西、平池、坂野、寺田、太田、神田）

一般（日高、神吉、大塚、中村、金木、池田、田村、杉田、山田、宇佐見、大橋、大久保、藤木、奈良、出口、横山、橋野、南波、西畑、小泉、坂川、津川、三浦、武田、福井）

- ・全体としては、学生、企業、NPO、行政と多様な団体と繋がり知り合えたことが、一番のメリットと語った人が多かった。ここまでの繋がりを持ったイベントはかつてなかったとも言える。この繋がりを生かした今後の活動が期待される。
- ・777プロジェクトの生みの親ともいえる「あしや子ども笑顔ネット」の目的とした、子どもが自主的に参画できる機会を持ち芦屋を知りより愛せること、成人した後もこの経験を生かして活動人の一人となることが期待できるイベントとなったと言える。
- ・最後にヒーローショーでのことばを実行委員長から皆様に贈った。「みんなの応援の声は、いつだって私たちの力になる。この街は、かつて困難に負けずに立ち上がった素晴らしい街だ。これからも、みんなの力で、この街の笑顔と平和を守ってほしい。私たちは、いつまでも君たちを見守っている。」

以下、参加者の感想である。

- ・自分たちの活動で手いっぱい、他団体との繋がりができなかった。（芦屋映像倶楽部）
- ・組織運営を学ぶことを目標とした。学生がよく動いてくれたことに感謝、一人の力ではできないことが多いを実感した。（体育館担当リーダー）
- ・暑い夏を学生と青春を楽しめた。いい思い出ができた。これからもいい事業をやりたい。また、芦屋のために力を貸していただきたい。（777事務局 総とりまとめ）
- ・嬉しかったこととしては、スタッフTシャツを着用していることで色々な人と繋がった。気球に乗れなかったことが残念。（県立芦屋高校）
- ・子ども連れの人たちのたくさんの笑顔を見ることができた。来年も頑張りたい。（県立芦屋高校）
- ・ウルトラセブンを楽しみに子どもたちが体育館に向かう姿がほほえましかった。靴袋配架の時広く見渡し配布することができなかったことが残念。（県立芦屋高校）
- ・他の団体と協力しながら仕事ができ良かったことが良かった。（県立芦屋高校）
- ・会場等を事前に把握ができていなかったため、問われたことに答えられなかったことが反省点。ありがとうと言われたことが嬉しかった。（県立芦屋高校）
- ・会場周りの道路の駐停車に注意をする勇気がなかった。備品を壊した。もっと居たいとぐずる子や楽し気に帰る親子を見て嬉しかった。（県立芦屋高校）
- ・新聞をみんなに配れなかった。小さい子に会えた。（県立芦屋高校）

- ・靴入れの配布中、会場の情報が少なく聞かれたことに答えられなかった。全体的には楽しかった。(県立芦屋高校)
- ・笑顔で客を迎え入れられた。ボランティアの依頼は芦屋高校へ。(県立芦屋高校)
- ・音楽を通して皆さんと通じられたことを嬉しく思う。客カウントに戸惑った。(県立芦屋高校)
- ・演奏中に大声で話す人がいた、演奏をメインにしてほしかった。自分たちで頑張って取り組めたことがよかった。(県立芦屋高校)
- ・出口から入ってきた人が数人いたが注意できなかった。演奏は楽しくできた。(県立芦屋高校)
- ・対象が小さい子であったことが魅力だった。来年も続けて、子どもが大人になり自らも活動できる大人になることを希望する。ボランティアの人が足りなかった。ボランティアに今後も参加したい。(県立芦屋高校)
- ・地域のことを少しわかるようになった。総勢 45 名参加。学生を誇らしく思う。親でも教師でもない第 3 の大人と一緒にできる機会を貰えた。今回は、学生が自主的に様々な形で参加できたことがよかった。(県立芦屋高校教頭)
- ・7月8月と準備ができなかった。当日は小さい子どもにたくさん来ていただいた。ボランティア参加を今後もしていきたい。(芦屋大学)
- ・親子で参加できたことがよかった。(芦屋大学)
- ・SNS等の広報等を駆使し市内外の人多くの人に来ていただきという気持ちが大きかった。芦屋をよく知る機会にもなった。(学生)
- ・大学のホームページで知った。色々な人と交流ができたこと、芦屋を知ったこと、とてもよかった。(甲南大学)
- ・反省なし！みんながボランティアだから。とても楽しかった。終わってから多くの方に「次はいつ？」と声をかけられた、これこそが成功だと言える。色々な方と知り合えたことがよかった。(副委員長)
- ・障害をお持ちの方が市内に 3000 人学生にたくさんのご協力を戴いた。どなたかの助けになればいいなと思う気持ちを大切にしてほしい。(芦屋市身体障害者福祉協会)
- ・水 Rocket には 30 人の幼稚園、小学校の参加があった。学生の書いた新聞もよかった。スタッフ T シャツが目立ち、声をたくさんかけていただいた。(宇宙少年団六甲分団)
- ・合成写真に準備及び当日も手がかかった。若い人との交流ができたことが嬉しかった。(芦屋映像倶楽部)
- ・どんな企画も否定がなかった。色々な人が巻き込めた。リーフレットの電話番号を間違えたが、それに対しても温かかった。(777 事務局 工場長)
- ・そもそも「あしや子ども笑顔ネット」からの発信であることを忘れないで欲しい。今後、他団体と繋がりたいことや、団体の困りごとなどあれば「あしや子ども笑顔ネット」に相談をしてほしい。(777 事務局 小ボス)
- ・団体がつながったことが嬉しく思っている。「学びや」学習ボランティアもよろしく。(精小 smile ねっと あしや子ども笑顔ネット委員)
- ・学園祭のように楽しかった。(精中応援隊)

- ・販売 校舎と校庭、両方での販売で多忙を極めた。(商工会 販売リーダー)
- ・ご案内中に長い列を見て、車いすの方が帰られたことが切なかった。良かったことは楽しかったと様々な年齢の方からも言っていたこと。(市民参画課課員)
- ・あしや子ども笑顔ネットから777プロジェクトが立ち上がり、行政は？と言われたが市民が主体的に動くことが目的であり、他団体がつながったことは素晴らしいイベントだった。行政の中でも評価が高かった。(市民参画課課長)
- ・会議に参加する学生の意識の高さに驚いた。また、当日の対応も丁寧で全てが楽しかった。(商工会副会長)
- ・誰にカメラを向けても笑顔を向けてくれた。つながることは楽しい、継続を。(ハナヤ勘兵衛)
- ・事務局としては関わりが薄かった。(芦屋市商工会事務局)
- ・いろいろな方と協働し成功した中に参加したことがよかった。(男女共同参画推進課)
- ・チラシ、ポスターはギリギリまで諸事情で配布ができなかったが、当日の参加者は4,500名、ヒーローショー2,000人、最遠方としては茨城県から来られた。感動したという手紙もいただいた。円谷プロが初めてで1回限りのイベントの集客力に驚いた。芦屋市は77年前に戦時中混とんとした時代に生まれている。阪神淡路大震災の経験も含めた芦屋市に重きを置いた台本を円谷プロが作ってくれた。良かったことはボランティアの皆様のおかげです。若い皆さんにとってこの経験は、もう少し大きくなってから行かされるだろうと思う。(実行委員長)

以上



ありがとうと言ってもらえた！ 青春！ いい思い出ができた！ いろんな人と交流できた！ 大成功！！
 つなびりができにくかった！ 行政と民間が一つになった！ 笑顔を見れうれしかった！ ほほえましい光景が見れた！
 学生さんがかんばっていた！ スタッフもお客さん全員楽しめた！ 楽しかった！という声を聞いた！
 またボランティアをしたい！ 楽しいイベント！ たくさんの人と食べた！
 自分たちでもり上げようとかんばった！ 楽しく演奏できて良かった！ 小こぶ子が乗ってきた！
 地域のことを知るきっかけになった！ 反省点なし！！ 多くの人に絶賛されるすばらしいイベントだった！！
 生徒運がほらいい！ 芦屋をさらに知ることができた！！ 若い人と交流できて良かった！！
 スタッフTシャツが好評でした。はじめてのことが多くてワクワクした！ 器が広い！みんなが字体
 否定する人がいない！！ 間違いを指摘する人がいない。たくさんの人が集まってくれて嬉しい！
 学園祭みたいで楽しい思い出ができた。もっと知りたいたい！ ちゃんと対応ができた！

777